



鉄の
チカラで

2026年度 第1四半期 決算補足資料

株式会社中山製鋼所(証券コード:5408)

2026年 8月7日

未来_{をつくる}

四半期実績

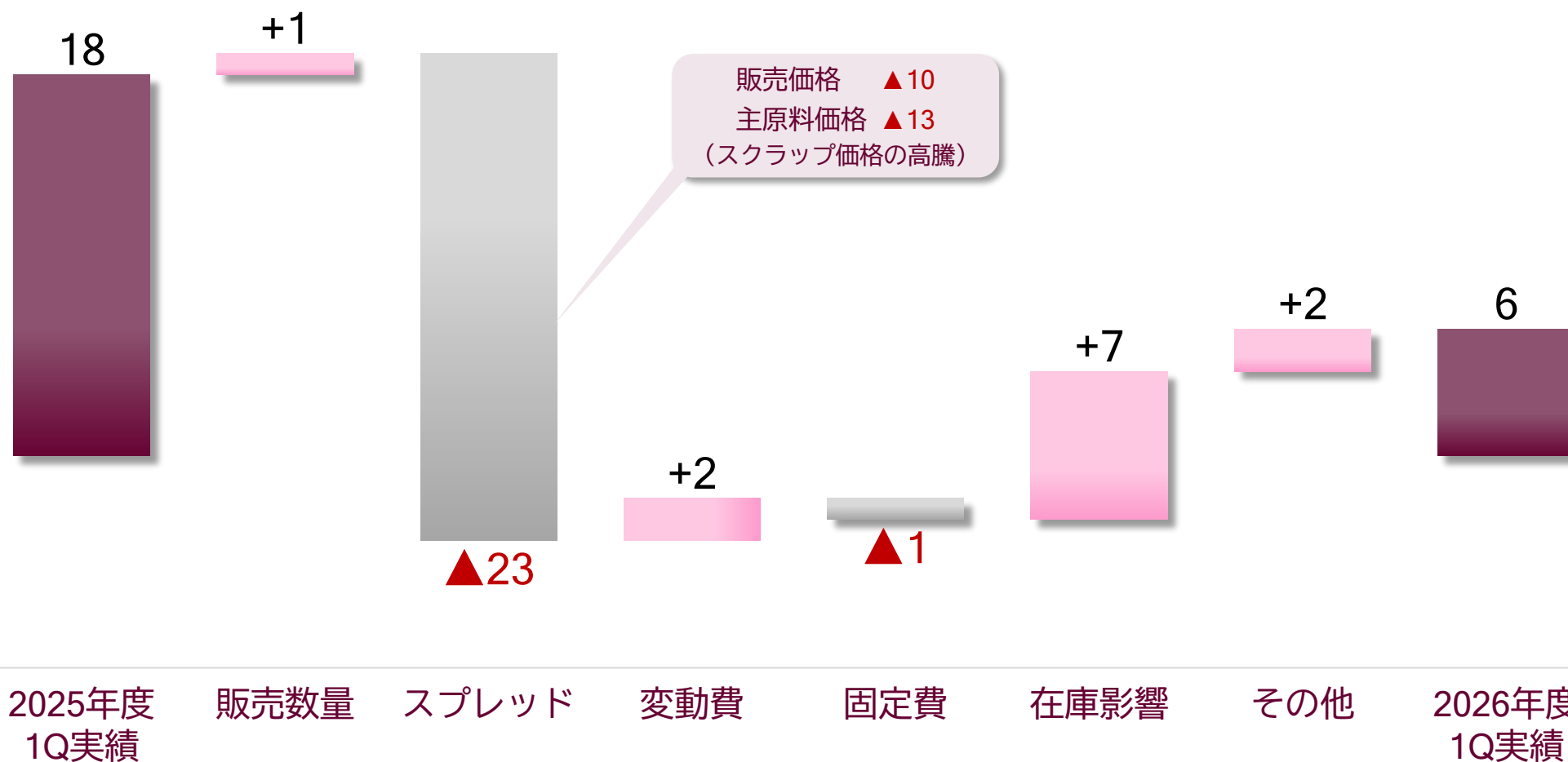
(億円)	2025 年度	1Q(A)	上期	2026 年度	1Q(B)	増減 (B)-(A)
売上高	1,483	389	766	—	383	▲6
営業利益	49	18	30	—	6	▲12
経常利益	48	18	29	—	6	▲12
(ROS)	3.2%	4.6%	3.8%	—	1.6%	▲3.0pt
親会社株主に帰属 当期純利益	25	11	17	—	19	+8

販売数量増加も、価格低下とスクラップ価格高騰によるスプレッド縮小により減益

- ・販売数量は、鉄鋼各社の値上げ表明を受けた先高観から、先行需要が高まり全体では増加。棒線、フラット系製品が増量となる一方で、中小建築向けの低迷が続く建材は微減。
- ・販売価格は、値上げを開始したばかりにて、十分な水準には至っておらず、依然続く需要低迷や安価な輸入鋼材への対応で、全般的に下落。
- ・旺盛な海外需要と円安による輸出価格高騰が国内のスクラップ価格上昇を招き、販売価格の低下も相まって、スプレッドを大きく圧迫。売上高微減の中で大幅減益となった。なお、既に開示している賃貸不動産の売却により、当期純利益ベースでは増益に。

経常利益増減分析 2025年度1Q 実績 ➡ 2026年度1Q 実績

(億円)



連結貸借対照表

(億円)	2026 3月末	2026 6月末	増減	(億円)	2026 3月末	2026 6月末	増減
現預金	232	263	+30	仕入債務	182	215	+33
売掛債権	411	432	+22	有利子負債	85	84	▲1
棚卸資産	267	291	+24	繰延税金負債	49	51	+1
その他	10	12	+2	諸引当金	41	36	▲5
流動資産	920	998	+78	その他	75	78	+3
有形固定資産	503	482	▲21	負債	432	463	+31
無形固定資産	4	4	±0	株主資本	1,039	1,055	+16
投資その他	96	88	▲9	その他	52	53	+1
固定資産	603	574	▲30	純資産	1,091	1,108	+17
資産合計	1,524	1,572	+48	負債純資産合計	1,524	1,572	+48
				自己資本比率	71.6%	70.5%	▲1.1pt

【科目別の増減要因】

- ・現預金
固定資産の売却により増加、引き続き新電気炉設備投資に備えて自己資金を積上げ
- ・売掛債権
2025年度4Qに変電所事故のリカバリー対応を実施、翌2026年度1Qに期日未到来の売上債権が残り増加
- ・棚卸資産
12月末に予定している変電所工事による電気炉休止に備え、計画的な先行生産を実施しており増加
- ・有形固定資産
賃貸不動産を売却(開示済み)
- ・仕入債務
上記先行生産に伴う増加

2026年度業績見通し

(億円)	2025 年度実績	2026 年度	1Q実績	上期	下期
売上高	1,483	1,570	383	760	810
営業利益	49	34	6	12	22
経常利益	48	20	6	0	20
ROS	3.2%	1.3%	1.6%	0.0%	2.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	25	39 ⁺⁴	19	24	15 ⁺⁴
配当/株	14円	20円		13円	7円

当期純利益を39億円に上方修正、その他は不変

- ・業務提携や拡販施策の具体化による販売数量増加と、推進中の販売価格引き上げにより増収。中東情勢の混迷が長期化する可能性を考慮し、もう一段のコスト増加を懸念して大幅減益。
- ・開示済みの土地売却譲渡益13億円を2Qに計上することに加え、下期に追加の固定資産売却を織り込むこととして、当期利益を39億円(期初予想比+4億円)に上方修正。
- ・年間配当については、期初予想から不変の20円/株を予定。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手した情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。つきましては、本資料のみに依拠した投資判断はお控えくださいますようお願い申し上げます。本資料の利用によって生じたいかなる損害につきましても、当社は責任を負いません。